

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。施工後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本製品について

- ・ 構成部品をすべて扉の内側に取り付けるため、機械式の錠前のように扉外側のすき間からデッドボルトをこじ開けてロック機構を壊される心配がありません。
- ・ 標準機能のタイプと吸着感知・扉開閉感知機能のタイプがあります。

仕様

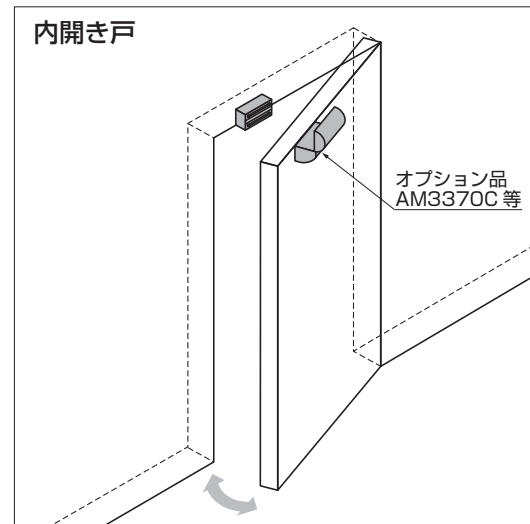
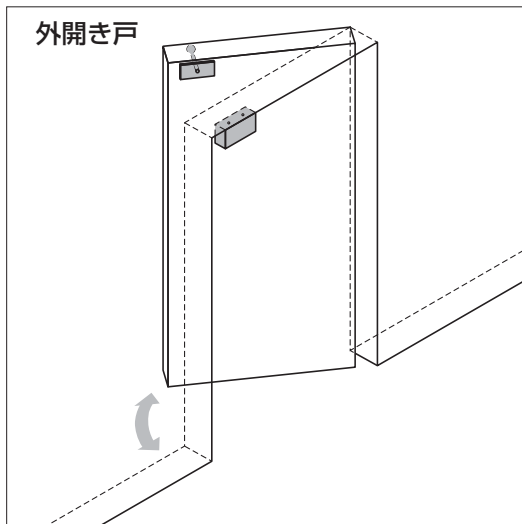
品番	吸着感知機能	扉開閉感知機能	表示灯※ ¹	電圧 V	電流 mA	消費電力 W	使用温度範囲 °C	吸着力 N ※ ²	吸着力 Kg ※ ²
600S	なし	なし	なし	DC12/24	400/200	4.8	-10 ~ 55	2650	270
600LB	あり	あり	あり						
1200S	なし	なし	なし						
1200LB	あり	あり	あり					5300	540

※¹ 表示灯の識別

表示灯	施解錠	扉の状態	錠本体
消	解	どちらでも	停止
緑	施	閉	作動
赤	解	開	作動

※² この値は本体がストライクプレートを吸着する力です。実際の引きはがし強度は取付金具や取付場所の強度に依存します。

使用例

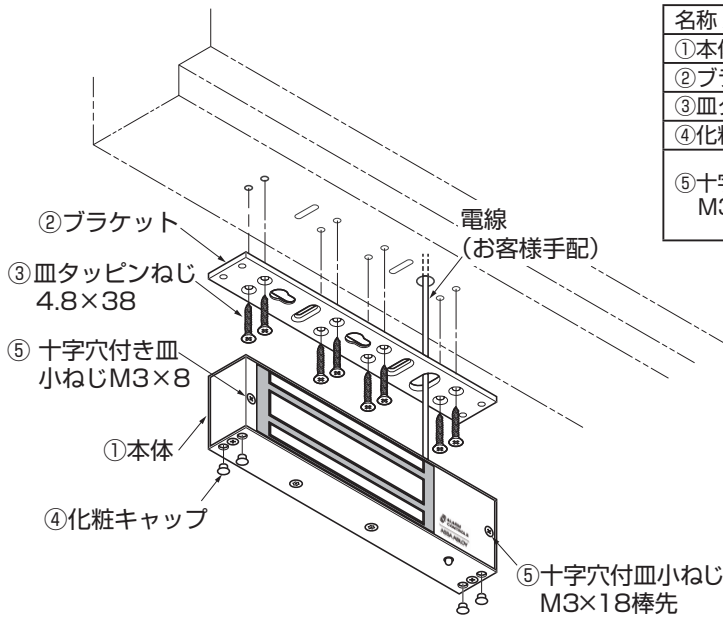


注意事項

- 本製品を取り付ける扉や枠などは、強度に見合ったものを用意してください。
- 本製品は、戸当たりとしての機構は備えておりません。衝撃が加わる使い方は避けてください。
- 戸当たり幅が狭く本製品が取り付けできない場合は、別売りの取付ブラケット等をお使いください。
- 電線は付属していません。
- 取付場所に配線経路を確保しておいてください。
- 1200 型は梱包時にブラケットを止めるねじ (P.4【6】参照) 4 本のうち 2 本は締めていないため、本体内部でカラカラと音がします。

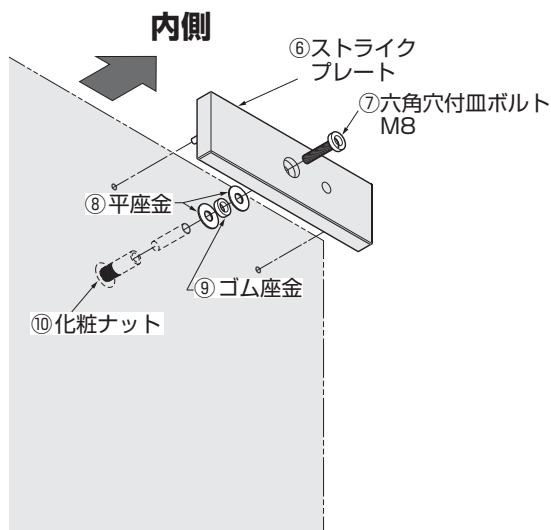
構成部品

本体（ねじ穴の数等はモデルにより異なります。）



名称 / モデル	600 型	1200 型	備考
①本体	1	1	
②ブラケット	1	1	
③皿タッピンねじ 4.8 × 38	7	12	
④化粧キャップ	2	4	
⑤十字穴付皿小ねじ M3 × 18 棒先	2	-	工具の挿入防止用 1本は本体に組込済

ストライクプレート



名称 / モデル	600 型	1200 型	備考
⑥ストライクプレート	1	1	
⑦六角穴付皿ボルト M8	1	1	いたずら防止仕様
⑧平座金	3	3	1枚は予備
⑨ゴム座金	2	2	1枚は予備
⑩化粧ナット	1	1	
⑪調整パイプ φ16 × 43	1	1	使用任意
⑫六角レンチ 呼び 3	1	-	
⑬六角レンチ 呼び 5	1	1	いたずら防止仕様
⑭十字穴付皿小ねじ M3	2	-	本製品では使いません

オプション品

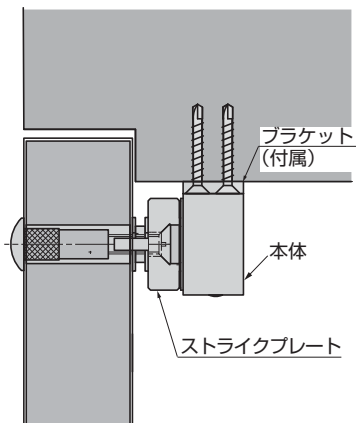
取付ブラケット	600 用	1200 用	備考
	AM3370	AM6370	カバー無し
	AM3370C	AM6370C	カバー有

使う工具と準備していただくもの

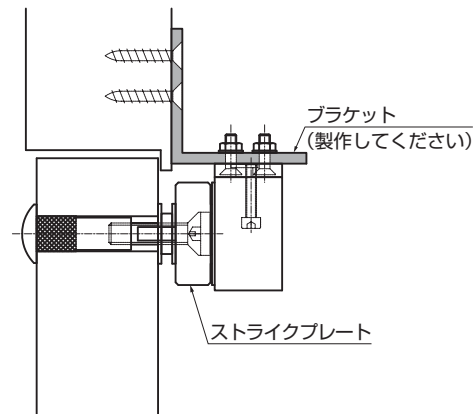
- ・ プラスドライバー 2番
- ・ ドリルビット φ6.4、φ12.7

1 取付例

標準的な取付け



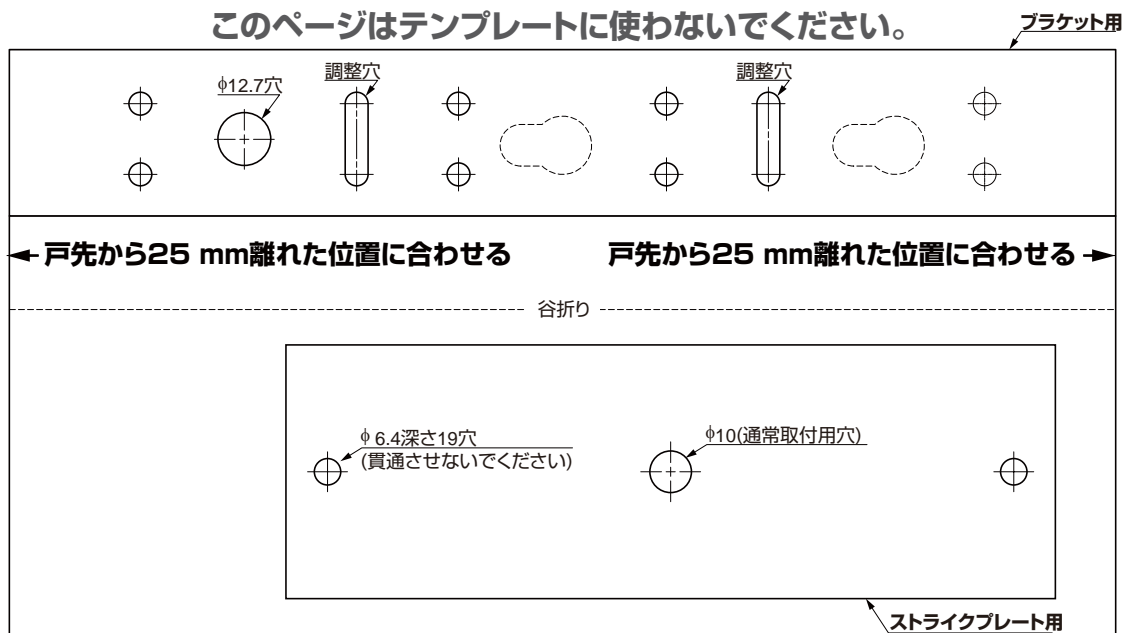
取付座がない場合



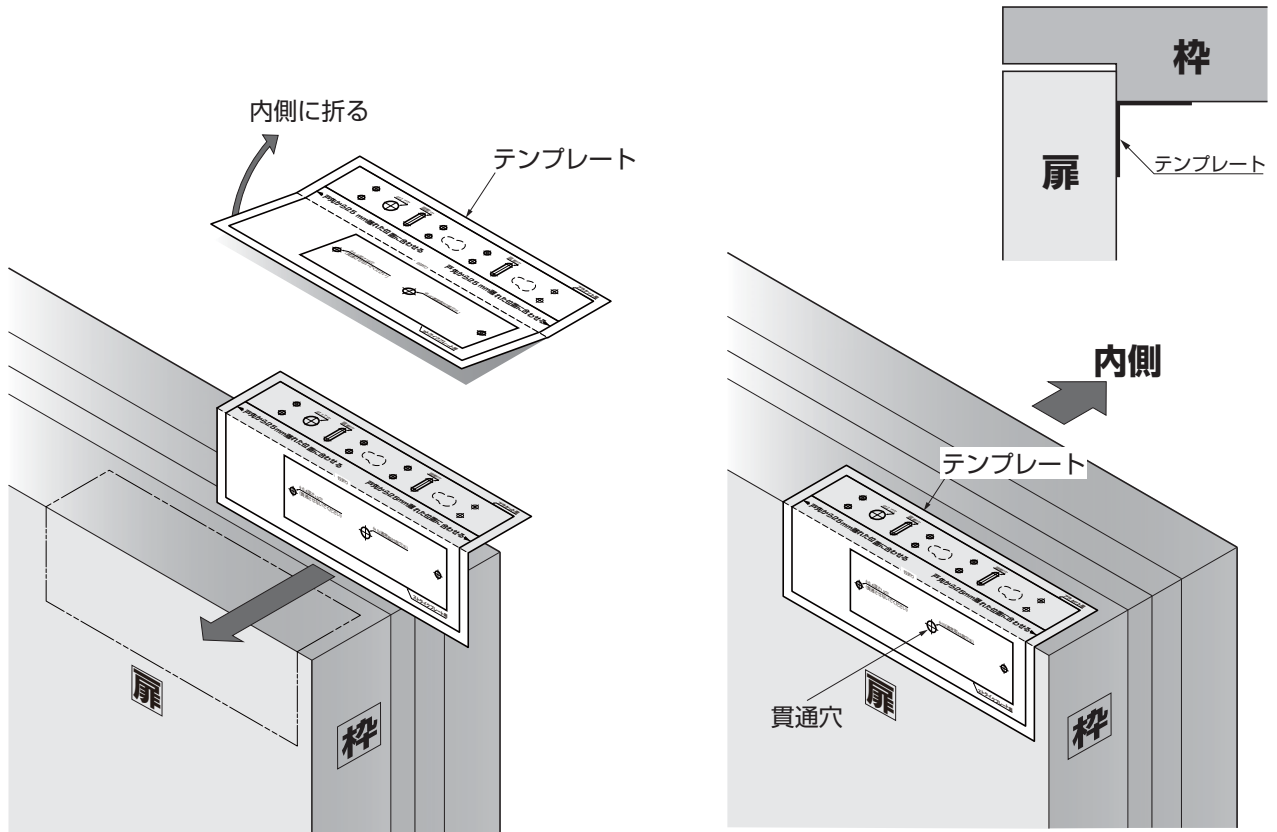
2 テンプレートの使い方と取付手順

【1】テンプレートの説明 (図は 1200 型を示します。600 型も使い方は同じです。)
 (テンプレートは英語表記のため、ここでは和訳しています。)

このページはテンプレートに使わないでください。



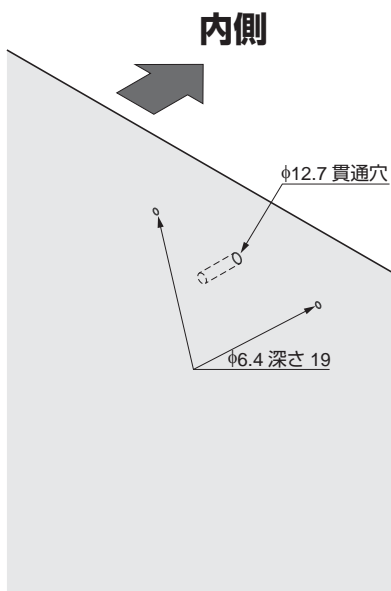
【2】 扉と枠へのマーキング



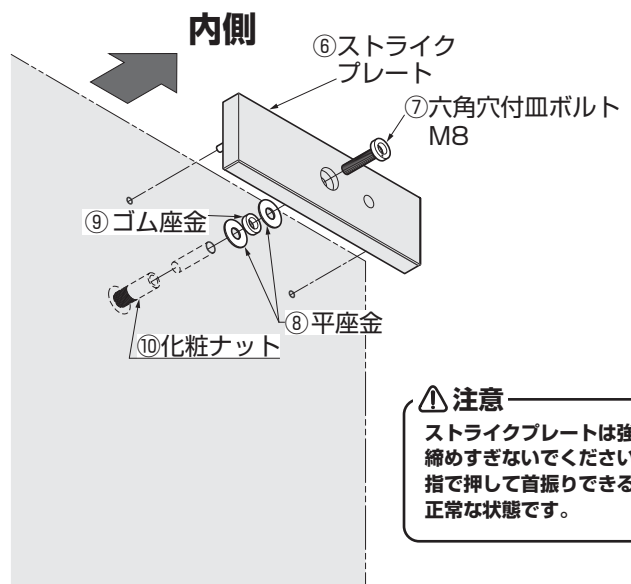
扉を閉めた状態

【3】 枠へ配線穴をあける

【4】 扉への穴加工

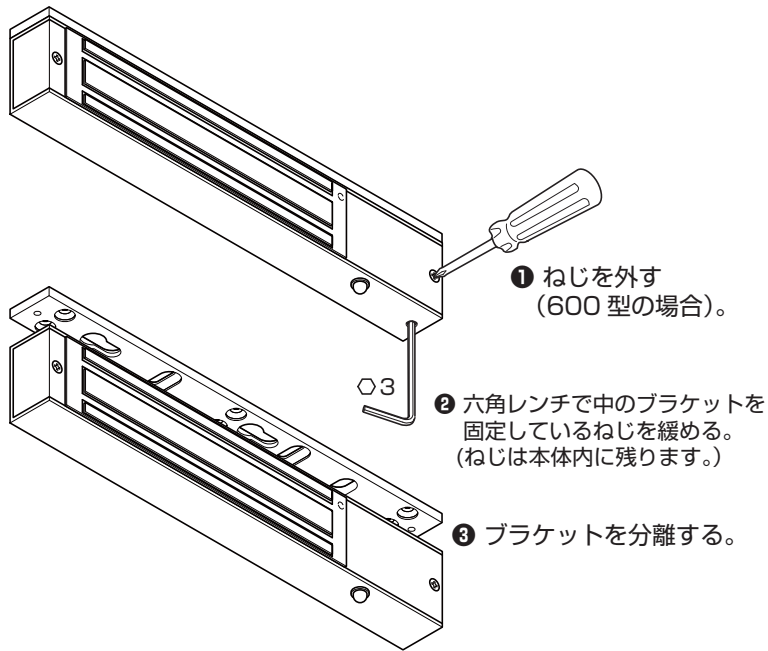


【5】 ストライクプレートの取付け

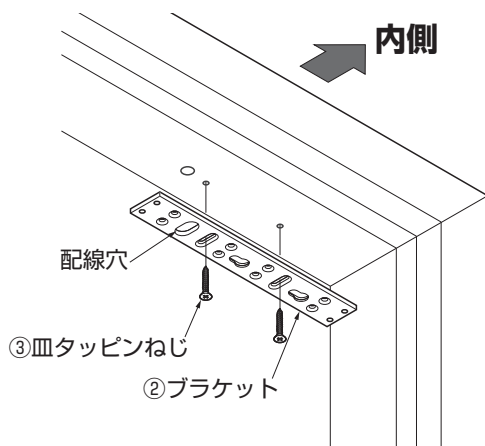


⚠ 注意
 ストライクプレートは強く
 締めすぎないでください。
 指で押して首振りできるのが
 正常な状態です。

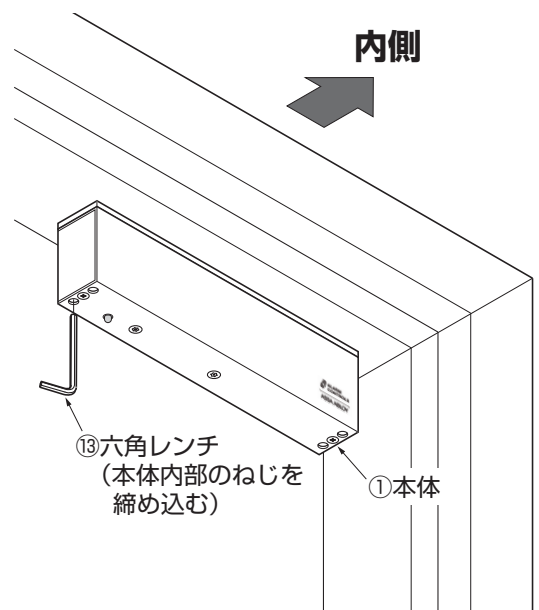
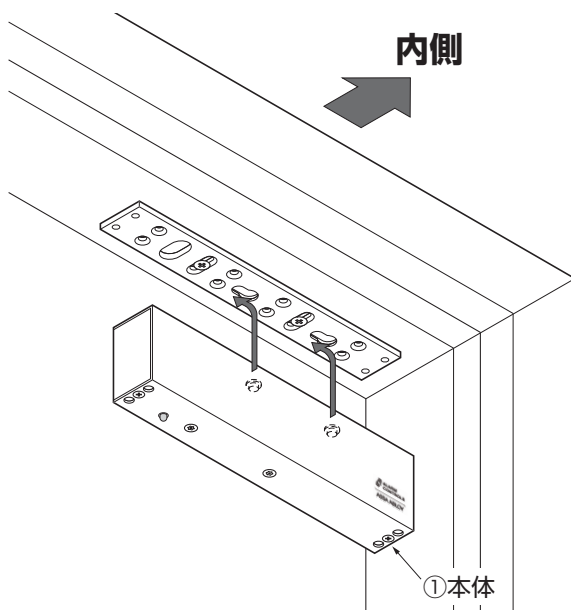
【6】 本体とブラケットの分離



【7】 ブラケットの仮固定 (P.9「確認と調整」の後8ヶ所を固定してください。)



【8】 本体の取付け・配線 (配線の詳細については、P.8～9をご覧ください。)

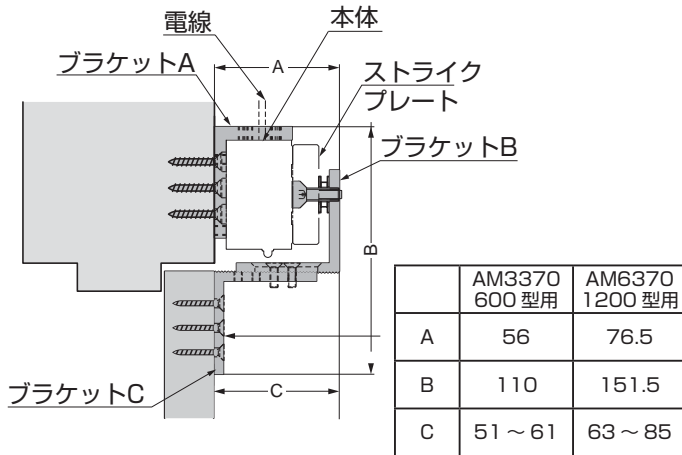


内開き扉への取付け

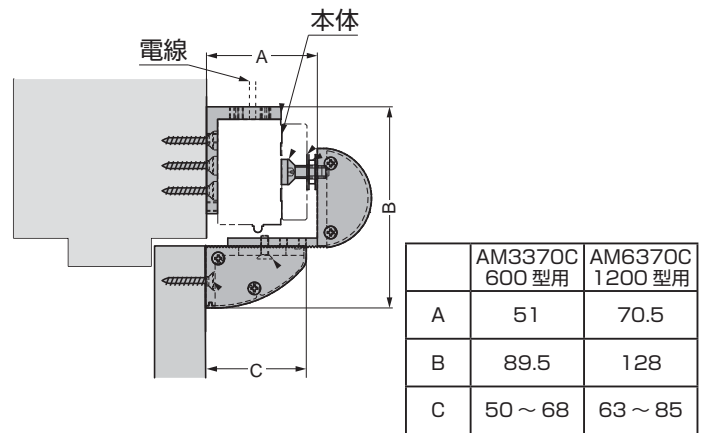
1 取付例

・本製品を内開き扉に取り付けるには、別売のブラケットを用いて、ストライクプレートが内側から本体に当たるように取り付けます。

ドレスカバーなしのブラケットの場合



ドレスカバー付ブラケットの場合

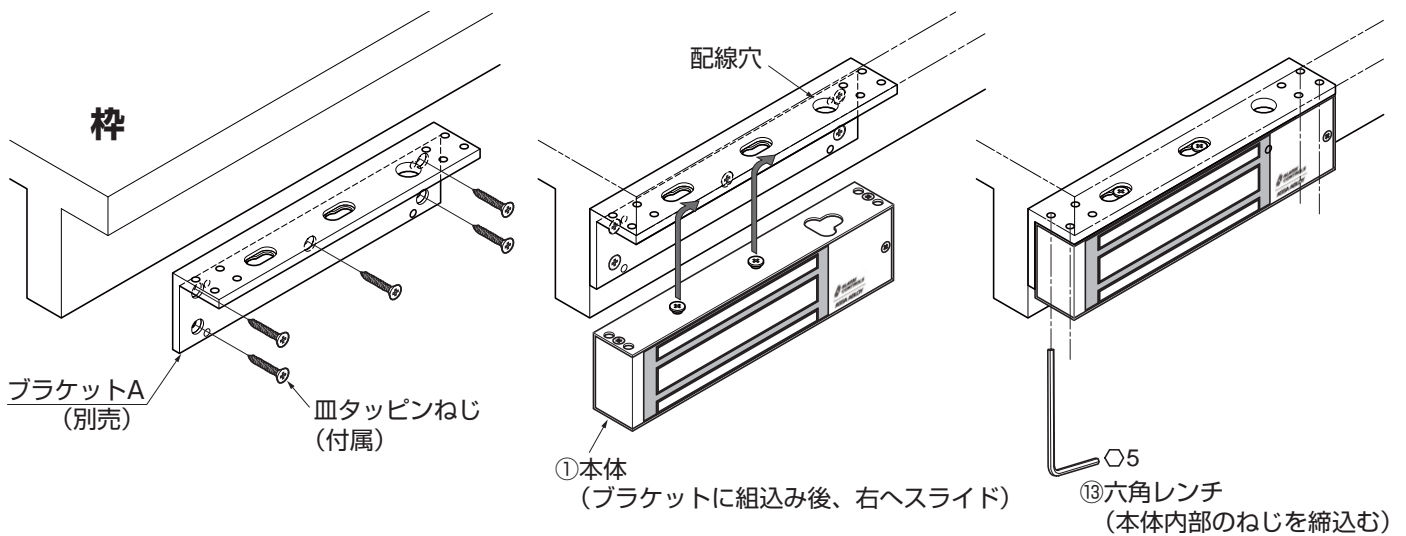


2 取付手順

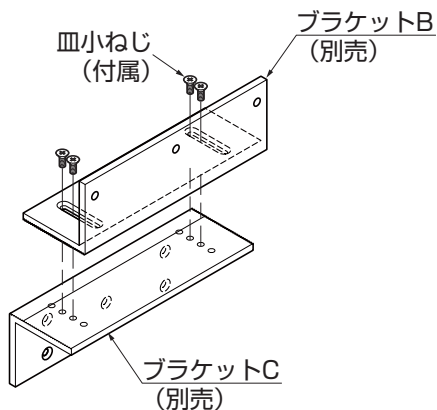
・ここでは、ドレスカバーなしのタイプの例で説明しますが、ドレスカバー付タイプでも要領は同じです。

【1】本体とブラケットの分離 (P4【6】をご覧ください。)

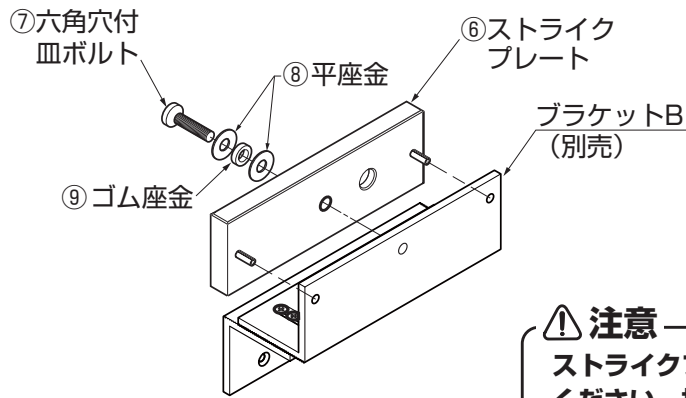
【2】ブラケットA、本体の固定・配線
(配線の詳細については、P8～9をご覧ください。)



【3】ブラケットB、Cの組立て
(ねじは、後で調整するため、仮止めにしてください。)



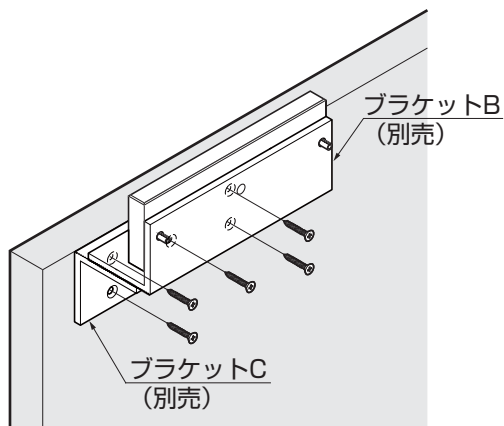
【4】 ストライクプレートとブラケットB・Cの組立て



⚠ 注意

ストライクプレートを強く締めすぎないでください。指で押して首振りできるのが正常な状態です。

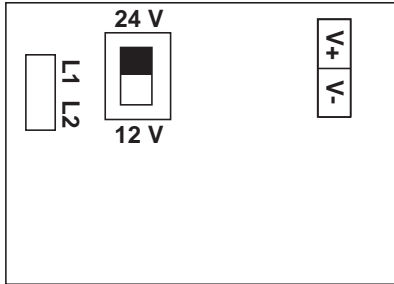
【5】 扉への取付け



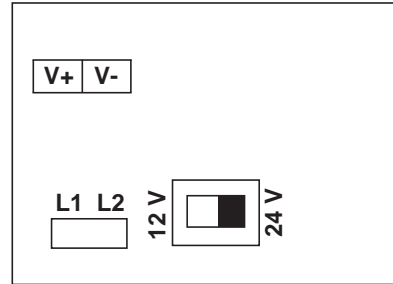
1 端子の配置

- ・端子は吸着領域右側のカバーを外した内側にあります。
- ・工場出荷時の設定電圧は、DC24Vです。DC12Vで使う場合は、基盤の電圧スイッチを変更してください。
- ・モデル 600LB と 1200LB は、ストライクプレートの吸着・未吸着を確認できる無電圧 C 接点出力、および扉開閉信号が取れる無電圧 A 接点出力（扉閉時メイク）を内蔵しています。
- ・電気錠の電源スイッチは、プラス側に設置してください。

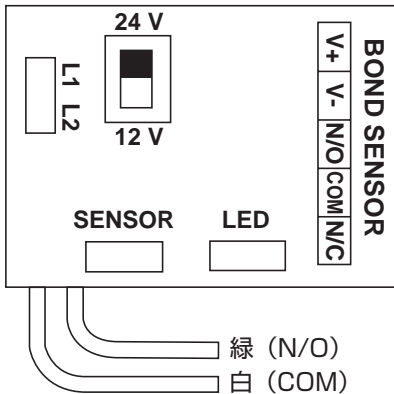
600S (標準機能)



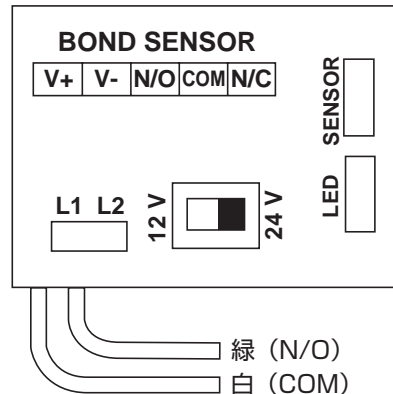
1200S (標準機能)



600LB (吸着感知・扉開閉感知 BD 機能)

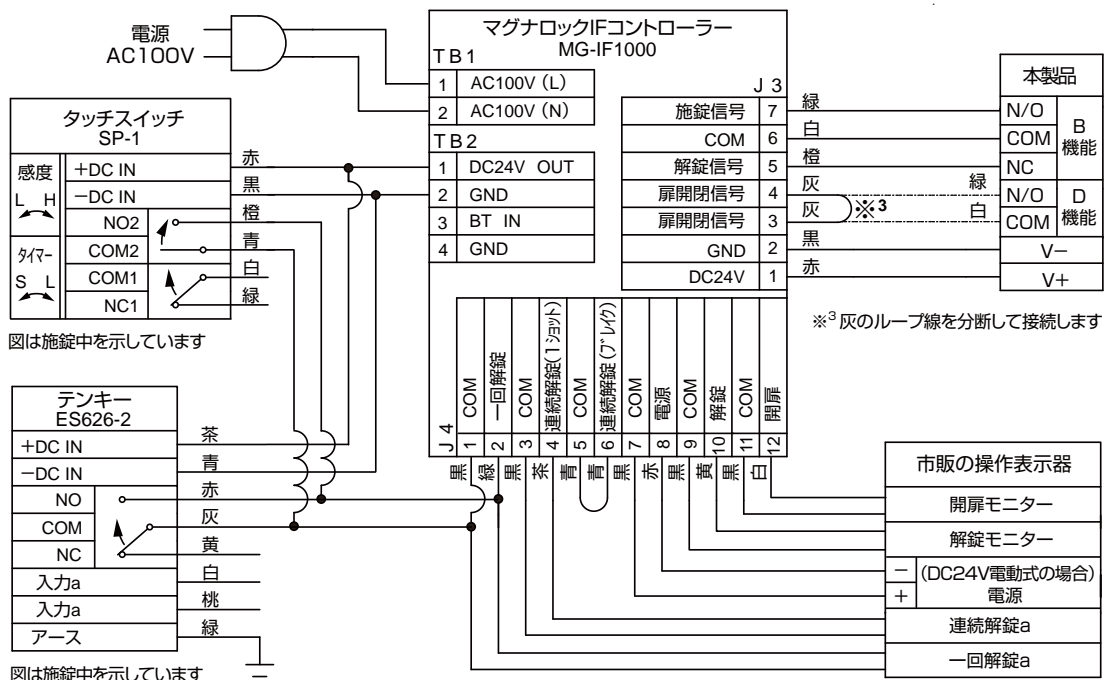


1200LB (吸着感知・扉開閉感知 BD 機能)



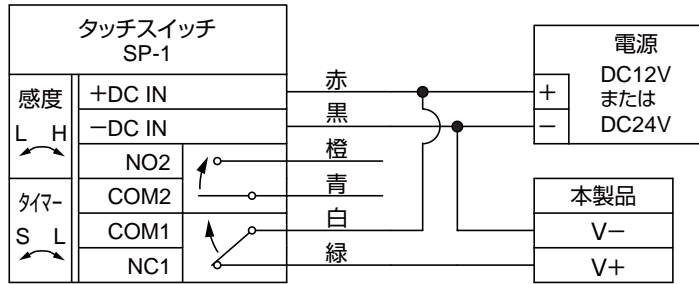
2 接続例

【1】本製品を IF コントローラー MG-IF-1000(別売) で制御する例



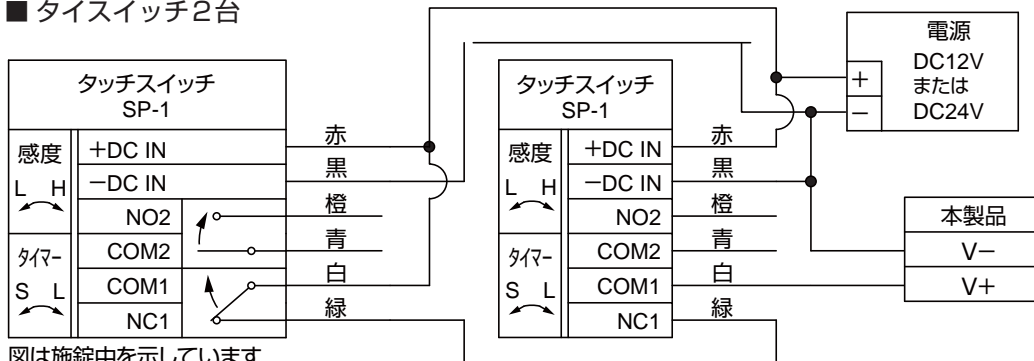
【2】 本製品をタイスイッチでSP-1（別売）で直接制御する例

■ タイスイッチ 1 台



図は施錠中を示しています

■ タイスイッチ 2 台



図は施錠中を示しています

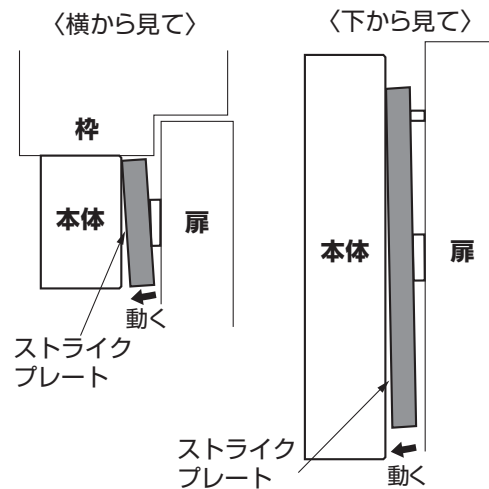
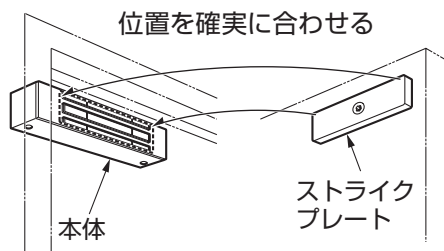
3 緊急解除について

緊急時には、手動または火災報知システムより解除できるように本製品を配線する必要があります。弊社では扉の解除を確実にを行うために、電源を遮断することをお勧めします。

確認と調整

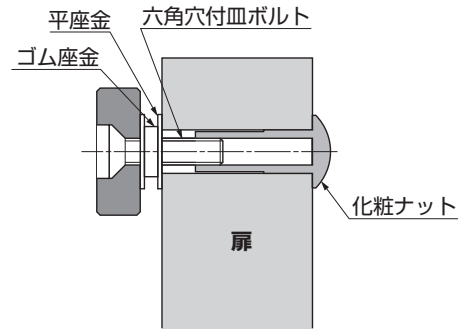
1 位置の確認と調整

- 【1】 本体に電源が接続されていないとき、扉を閉じてストライクプレートが動くことを確認し、本体の吸着領域とストライクプレートの位置が合っていることを確認してください。



【2】電源に本体①を接続し、扉を閉じて本体とストライクプレートが吸着し、簡単に外れないことを確認してください。

- ゴム座金は、ストライクプレートに柔軟性を持たせ、閉め合わせの時の吸着を良くするためのものです。
- 化粧ナットが使用できない場合は、ダブルナットやUナットを使用して、六角穴付き皿ボルトがゆるまないように処置してください。ボルトがゆるむと、吸着が悪くなり、ロック機構に支障をきたします。
- 吸着面のメンテナンスは、シリコンベースのクリーナーを使用するか、潤滑剤を布に付けて薄く拭いてください。



2 吸着感知・扉開閉感知感知 BD 機能の確認

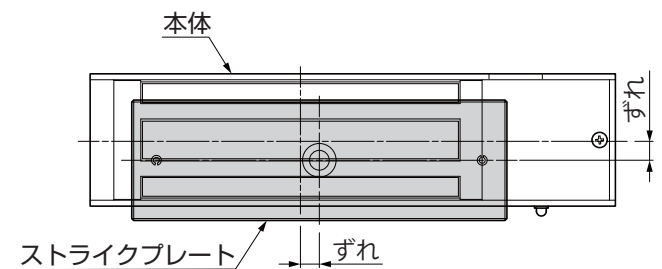
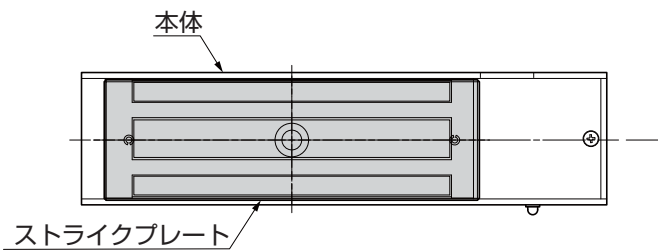
本体とストライクプレートがお互い真正面で接するようにしてください。

本体とストライクプレートの位置がずれていると本来の吸着力が出ず、B 感知機能は「解錠」、D 感知機能は「開扉」出力のままになります。ずれがある場合は直し、感知機能が正常に働くようにしてください。

また、取り付け場所そのもの（扉の建付け）が経年変化でずれることがありますので、定期的に確認をしてください。

正しい取付け

悪い例



本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口をお願いいたします。

電話番号 03 (3864) 1122

受付時間 月～金 9:00～17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail : support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE スガツネ工業
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384) ・ ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001: 物流 WEST を除く、国内拠点 ※ISO14001: 千葉工場および物流センター (SBC)
<http://www.sugatsune.co.jp/>

2018.08 1205-2